

京都大学における環境マネジメントシステムの状況

■ 環境・エネルギー管理推進室の設置

京都大学の環境マネジメントシステムは、関連する委員会での活動やステークホルダーからの意見を取り入れ、構築・再整備を進めてきました。京都大学ならではの環境マネジメントシステムが徐々に動き出しています。

2007年度には「京都大学環境計画」と「京都大学環境賦課金方針」を制定し、環境負荷の低減活動に取り組むための明確な目標を示しました。そして2008

年4月には省エネルギーに注力し、環境負荷の低減を推進するため「環境・エネルギー管理推進室」(以下、推進室とする)を設置しました。

推進室の役割は、省エネルギー及び廃棄物削減のための具体的な施策の検討や部局の環境配慮行動及び省エネルギーに関する取り組みへの助言・指導と、環境賦課金による省エネルギー対策などの実施及び公開となっています。表4 (26

ページ参照)で計画の実施状況を記載していますが、このうち「エネルギー使用量/温室効果ガスの排出量」に関する項目は、ほとんどの計画を推進室が中心となって進めてきました。推進室では、環境賦課金による事業を中心に具体的な活動の計画(Plan)を作成し、実施・運用(Do)を行っています。今後は、点検(Check)から見直し(Action)への流れの確立を検討します。

■ 部局環境目標の設定

環境マネジメントシステムの推進には全学的な目標のほかに、部局レベルでの目標設定と運用が必要となります。例えば、部局での研究内容や建物によってエネルギーの使用方法や消費量が異なる

ため、それぞれに見合った取り組みで温室効果ガス排出量の削減を目指す必要があります。組織単位で協力しながら目標を達成できるよう、推進室では部局での環境管理体制の充実なども検討して

います。またエネルギー管理主任者や省エネルギー活動に積極的な構成員が中心となって、徐々に部局独自の取り組みも始まっています(50～51ページ参照)。

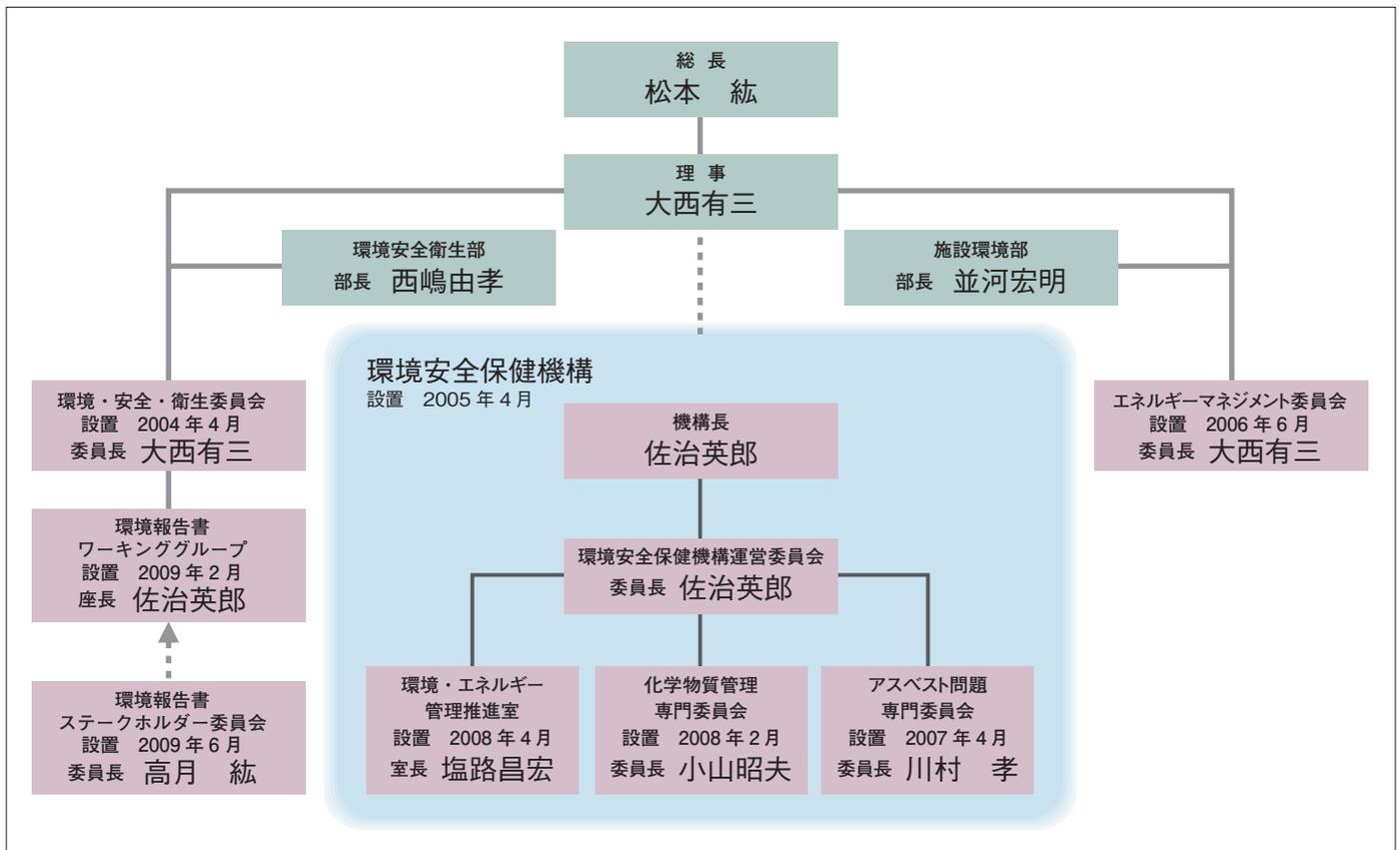


図4 京都大学の環境管理体制

■ 法的要求事項に対する管理の状況

法的要求事項を遵守することは、環境管理の最も基本的な事項です。法令の遵守は大学の社会に対する義務でもあります。

京都大学では、主に大学の施設や活動に該当する環境関連の法令をまとめた「環境関連法令要求事項一覧」と学内の事務手続きの方法から行政の届出先までをまとめた「環境関連法令届出手順

書」を作成し、それらを活用して法令遵守に努めています。昨年度に引き続き、2008年度も法的要求事項に対する管理状況の点検(Check)を実施し、10部局で書類や記録の点検、現地確認を行いました。構成員の意識も少しずつ高まっており、不適切な点が見つかった場合はすぐに是正を行うなど、それぞれの関係者が迅速な対応を行っています。

また2008年度は学内の監査室による「環境への負荷の低減に向けた取り組み状況に関する監査」が初めて行われ、その報告書では構成員への環境に関する取り組みの計画や方針の周知方法の工夫など、今後取り組むべき課題も指摘されました。

■ 教育・訓練の実施

昨年度同様に環境計画「5つの柱」に関わる構成員を中心に、2008年度の構成員への教育・訓練を延べ3,590名に行いま

した(表3)。また、京都大学の一員として取り組みに参加してもらうことを目的に、新入生へのガイダンスにおいて、京

都大学の環境目標やパソコンの省エネ設定を中心とした内容の説明を行いました(42ページ参照)。

表3 2008年度環境に関する教育訓練の実施状況

教育訓練の名称	教育訓練の対象・種類	実施日	参加者数(人)	概要	備考
新入生ガイダンス	新入学部生・大学院生	2008/4/1～5/15	2,163	CO ₂ 削減目標の解説など	14部局、15回実
エネルギー管理主任者会議	各部局エネルギー管理主任者	2008/4/22	47	環境計画の説明など	
情報セキュリティ講習	各部局情報管理担当者	2008/5/15	46	CO ₂ 削減目標の解説など	
研究所病院経理掛長会議	研究所病院経理系掛長	2008/5/16	14	CO ₂ 削減目標の解説など	
KUCRS講習会	各研究室KUCRS担当者	2008/5/15～6/11	1,130	CO ₂ 削減目標の解説など	6回実施
新採用職員育成プログラム	新採用事務職員	2008/6/17	43	CO ₂ 削減目標の解説など	
局所排気装置の自主点検講習会	各研究室局所排気設備管理者	2008/10/21	29	省エネのための局所排気装置の使用方法などを解説	
エネルギー管理主任者会議	各部局エネルギー管理主任者	2008/11/18	38	CO ₂ 削減目標の解説など	
新採用職員育成プログラム	新採用事務職員	2008/11/26	28	CO ₂ 削減目標の解説など	
環境安全衛生事務担当講習会	各部局廃棄物管理事務担当者	2009/1/27	52	廃棄物管理について	

■ 今後の課題

これまでの活動の結果、計画(Plan)、実施・運用(Do)に関しては一定の成果を上げることができました。点検(Check)についても、活動を始めています。今後は部局の環

境管理体制を確立するなど、点検(Check)体制の充実とそれに続く見直し(Action)の仕組みを構築する必要があります。

京都大学にふさわしい環境マネジメントシ

ステムを確立できるよう、工夫を加えながら活動を継続していきます。